

はじめに

こんにちは。

本書は、世界中でたくさんの人々によって、幅広い用途で使われているプログラミング言語である **Java** の入門書です。

『明解 Java』シリーズ第 1 冊目の『入門編』である本書は、『プログラミングの基礎』から開始して、『オブジェクト指向プログラミング』をマスターするところまでを、じっくり確実に学習していく構成となっています。

読者として想定しているのは、『コンピュータの基本的な使い方は分かっているけど、プログラミングには初めて挑戦する』という方々です。これまでの私自身の、膨大な数の学生・受講者を対象とした、長年にわたる豊富な教育経験をもとに、学習者が理解しにくい点・つまずきやすい点を丁寧に解説しています。そのため、他のプログラミング言語の経験者や、別の Java のテキストで学習を進めることができなかつた方々にも満足いただけるでしょう。

*

本書は、以下の二点をバランスよく学習できるように配慮しています：

- ・ Java という言語の基礎
- ・ プログラミングの基礎

この二点を語学の学習にたとえて簡単に説明すると、前者は『基礎的な文法や単語』に相当し、後者は『簡単な文書を書くことや会話をする』に相当します。

各種の概念や文法を視覚的に理解できるように 278 点もの図表を示していますので、安心して学習に取り組めることでしょ。

例題として示すプログラムリストは 248 編にも及びます。プログラム数が多いことを語学のテキストにたとえると、会話文や例文がたくさん示されていることに相当します。数多くのプログラムに触れて Java のプログラムになじみましょう。本書で学習するプログラムには、**数当てゲーム**、**ジャンケンゲーム**、**暗算トレーニング**なども含まれています。楽しみながら学習をすすめていきましょう。

*

本書は、全編が語り口調です。私の講義を受講しているような感じで、全 15 章の最後までお付き合いいただければ幸いです。

平成 19 年 7 月

柴田 望洋

本書の構成

本書は、以下に示す章から構成されています。

- 第 1 章 画面に文字を表示しよう
- 第 2 章 変数を使おう
- 第 3 章 プログラムの流れの分岐
- 第 4 章 プログラムの流れの繰返し
- 第 5 章 基本型と演算
- 第 6 章 配列
- 第 7 章 メソッド
- 第 8 章 クラスの基本
- 第 9 章 日付クラスの作成
- 第 10 章 クラス変数とクラスメソッド
- 第 11 章 パッケージ
- 第 12 章 クラスの派生と多相性
- 第 13 章 抽象クラス
- 第 14 章 インタフェース
- 第 15 章 文字と文字列

- ▶ このような構成となっている理由や、本書における学習の注意点などを、p.505 の《おわりに》でも解説しています。

最初の章から順に一つずつマスターしていきましょう。ただし、本文の補足的なことや応用的なことをまとめた“**Column**”は、高度な内容のものもありますので、難しく感じるのであれば、いったん飛ばしておき、後から読んでも構いません。

- ▶ 本書では、数多くの演習問題を提示しています。本文の内容の理解を深めたり、別の角度から学習したりして、みなさんの学習の幅と深さを広げるためのものです。自ら考えて解く努力が必要です。そのため、小学校や中学校の教科書と同様に、解答は示していません。

なお、ひと通り学習が終わった後に、いつでも《調べもの》ができるように、充実した索引が付いています (p.509 ~ p.523)。

いつでも手に届くところに本書を置いていただき、ご愛用いただけると幸いです。

*

本書に示す全ソースプログラムは、以下のホームページでダウンロードできます。

柴田望洋後援会オフィシャルホームページ <http://www.bohyoh.com/>

- ▶ 本書の《目次》と《索引》の PDF もダウンロードできます。お手持ちのプリンタで印刷していただくと、《調べもの》が楽になります。